

# 第1章 エコアクション 21・2004年版の構成

## 1. エコアクション 21 の構成

エコアクション 21・2004年版は4つのパートにより構成されています。

エコアクション21では、まず最初に取り組むべきこととして、事業活動による環境への負荷を知るための方法として「環境への負荷の自己チェック」の方法を第2章で、環境への取組のあり方を検討するための「環境への取組の自己チェック」の方法を第3章で示しています。

さらにこの二つの自己チェックも組み込んだ「環境経営システムガイドライン」を第4章で、環境への取組の状況を社会に報告する「環境活動レポートガイドライン」を第5章で示しています。

### 環境への負荷の自己チェックの手引き

この手引きは、事業活動に伴う環境への負荷の容易な把握方法を提示しています。環境経営システムを構築し、環境への取組を適切に実施するためには、まずどのような環境負荷があり、それがどの程度の量なのか等の、自己の環境負荷の状況を正しく把握することが必要不可欠です。

### 環境への取組の自己チェックの手引き

この手引きは、環境のために事業者に期待される具体的な取組のチェックリストとなっています。この自己チェックにより、環境への取組状況を認識し、今後実施していくべき具体的な取組を明らかにすることができます。

### 環境経営システムガイドライン

エコアクション 21 では、中小事業者の環境への取組を促進するとともに、その取組を効果的・効率的に実施するため、国際標準化機構の ISO14001 規格をベースとしつつ、中小事業者でも取組みやすい環境経営システムのあり方をガイドラインとして規定しています。新たに環境経営システムを構築する場合は、及びの結果を踏まえて、システムを構築することがよいでしょう。

### 環境活動レポートガイドライン

このガイドラインは、中小事業者が取りまとめて公表すべき環境活動レポートについて規定しています。環境への取組の成果を取りまとめて公表することは環境コミュニケーションの第一歩となります。

「エコアクション 21 認証・登録事業者」として認証され、登録を行うためには、上記の ~ の全てに取り組む、環境経営システムのガイドラインの要求事項を満たしていることが必要です。

## 2. エコアクション21の取組フロー

エコアクション21の取組に当たっては、一般的には以下のフローに示した手順が考えられます。

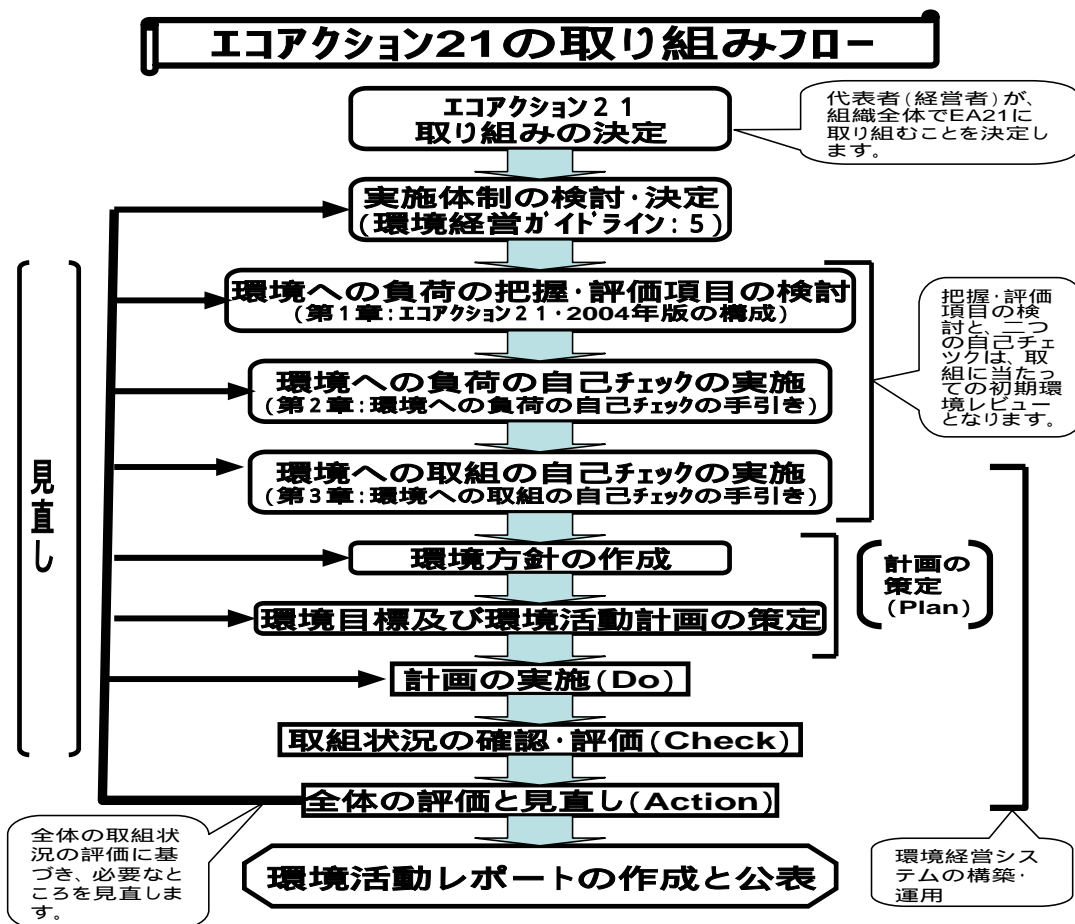
まず代表者がエコアクション21に、組織全体で取り組むことを決定します。エコアクション21の取組に当たっては、代表者のリーダーシップが何よりも重要です。

次いで、エコアクション21の取組に当たっての実施体制を決定します。

その上で、初期環境レビューと言える第2章の環境負荷の自己チェック及び第3章の環境への取組の自己チェックを実施し、その結果を踏まえて、第4章の環境経営システムを構築します。

環境方針、環境目標及び環境活動計画を策定し、実施体制が整えば、実際の取組に着手します。以後、定期的に取り組状況の確認・評価を行い、問題があれば是正処置等を実施します。

さらに、年に1回以上、代表者が取組状況全体を評価し、改善すべき点があれば見直しを行い、環境経営システムや環境への取組をより良いものにしていきます。これを繰り返すことにより、継続的改善を図っていきます。



### 3 . 環境負荷の把握・評価項目の選択

環境への取組を進めるためには、まず「自らの活動が環境にどのような影響を与えているのか、環境対策はどのような水準にあるのか」を適切に把握し、評価することが大切です。

環境への負荷の把握及び評価を行うに当たっては、まず最初に自らの事業所の特性を考慮して、**事業活動の中で、環境との関係が深いと考えられる項目**を9つの**活動内容**から選択して下さい。

次ページの**把握・評価項目の選択シート**は、環境省が平成15年1月に公表した「事業者の環境パフォーマンス指標ガイドライン - 2002年版 - 」において規定された9つのコア指標を基に、事業者の皆さんが把握・評価項目を容易に選択できるように作成したものです。<sup>1</sup>

次に、選んだ項目のそれぞれに対応する把握する環境負荷項目を31ページの「別表1 環境への負荷の自己チェックシート」から、評価する環境への取組を41ページの「別表2 環境への取組の自己チェックリスト」から、それぞれ選択して下さい。

この **環境への負荷の自己チェック**及び **環境への取組の自己チェック**は、環境経営システムを構築するための、**初期環境レビュー**に当たります。

#### 【環境負荷の把握項目及び環境への取組の評価項目の選択シート】

---

<sup>1</sup>：環境パフォーマンス指標について詳しく知りたい方は環境省の「事業者の環境パフォーマンス指標ガイドライン-2002年度版-」を参照して下さい。ガイドラインは <http://www.env.go.jp/policy/report/h15-01/index.html> よりダウンロードできます。

活動内容	負荷チェック	取組チェック
エネルギーの消費	<input type="checkbox"/> 総エネルギー投入量 <input type="checkbox"/> 購入電力量、化石燃料消費量、新エネルギー量 等	<input type="checkbox"/> 省エネルギー <input type="checkbox"/> 新エネルギー使用の拡大
原材料、部品、包装材等の消費	<input type="checkbox"/> 総物質投入量 <input type="checkbox"/> 循環資源投入量、天然資源投入量 等	<input type="checkbox"/> 省資源 <input type="checkbox"/> グリーン購入
水の消費	<input type="checkbox"/> 水資源投入量 <input type="checkbox"/> 上水、工業用水、地下水 等	<input type="checkbox"/> 節水、水の効率的利用
化石燃料等の燃焼	<input type="checkbox"/> 温室効果ガス排出量 <input type="checkbox"/> 二酸化炭素、メタン 等	<input type="checkbox"/> 二酸化炭素の排出抑制
化学物質の使用・排出	<input type="checkbox"/> 化学物質排出量・移動量	<input type="checkbox"/> 化学物質対策
製品の生産・販売	<input type="checkbox"/> 総製品生産・販売量	<input type="checkbox"/> 製品の開発・設計等における環境配慮
廃棄物の排出	<input type="checkbox"/> 廃棄物等総排出量 <input type="checkbox"/> 有価物、一般廃棄物、産業廃棄物 等	<input type="checkbox"/> 廃棄物の排出抑制、リサイクル
廃棄物の最終処分	<input type="checkbox"/> 廃棄物最終処分量	<input type="checkbox"/> 適正処理
排水	<input type="checkbox"/> 総排水量・水質汚濁物質排出量	<input type="checkbox"/> 排水処理